

所属	言語文化研究科 日本語・日本語教育専攻 修士課程	修了年度	2020 年度
氏名	グエン ティ クィ ナ	指導教員 (主査)	金澤 裕之

論文題目	<b>電子メールにおけるベトナム人日本語学習者の依頼表現について</b>
------	--------------------------------------

本文概要

本論文は、近年目立って日本語の学習者が増加しているベトナム人日本語学習者を対象として、ビジネスやアカデミックな場面でますます重要度が増しているメール媒体でのコミュニケーションのうち、日常的に重要となる依頼表現の部分に焦点を当て、その能力の向上を目指して、現在の学習者たちの使用実態を具体的に検証するとともに、同一課題に対する日本語母語話者たちの例を参考として、学習者たちへの指導方法や目指すべき表現・目標を明らかにしようとするものである。

各章ごとの主な内容は、次のとおりである。

第1章 序論 ここでは研究の背景や重要性、そして目的を述べる。

第2章 先行研究 ここでは、依頼表現一般の研究に関するものと、ベトナム人日本語学習者の場合の依頼表現に関するものとの二つに分けて先行研究を紹介し、その後、先行研究における問題点について述べる。

第3章 研究方法 ここでは本論文において調査対象とした2種類の資料（I-JAS コーパス、及び本研究での独自調査）について内容を説明したのち、実施の状況についても説明を加える。

第4章 調査結果の分析と考察 ここではまず、次に挙げる5つの資料について、その調査結果を紹介する。

- (1) I-JAS コーパスにおけるベトナム人日本語学習者の場合
- (2) 本研究の独自調査におけるベトナム人日本語学習者の場合
- (3) 上記、(1) と (2) の対照
- (4) I-JAS コーパスにおける日本語母語話者の場合
- (5) 上記、(3) と (4) の対照

なお、データの分析においては、「依頼表現の使用」、「授受表現や願望表現の使用」、「肯定文あるいは否定文の使用」、という主に3つの点に注目する。

第5章 まとめと今後の課題 ここでは文字通り、まとめと今後の課題について述べる。

6 参考文献

以下に、まとめの一部となる3つの提案を記述する。

1. 依頼表現の使用に関しては、メールの場合は書き言葉で書く必要があるため、基本的に「～てください」「～ていただく」形を使うべきである。また、日本語母語話者の場合を考えると、書き手にとって依頼しやすいし、読み手にとっても気楽に受け取りやすい「～ていただく」形が勧められる。

2. 肯定文と否定文の使用に関しては、一般には否定文の場合の方が丁寧だと思われるが、日本語母語話者の場合を考えると、場面に応じて使い分けた方がよいように考えられる。

3. 名詞要素を入れるか入れないかによって、丁寧さや分かりやすさが異なる場合が多い。学習者の場合にはこれはあまり使われていないが、それを使用することによって注意を引き付ける点などの効果が高くなるので、可能な範囲でそれを使用してゆくことが望まれる。